

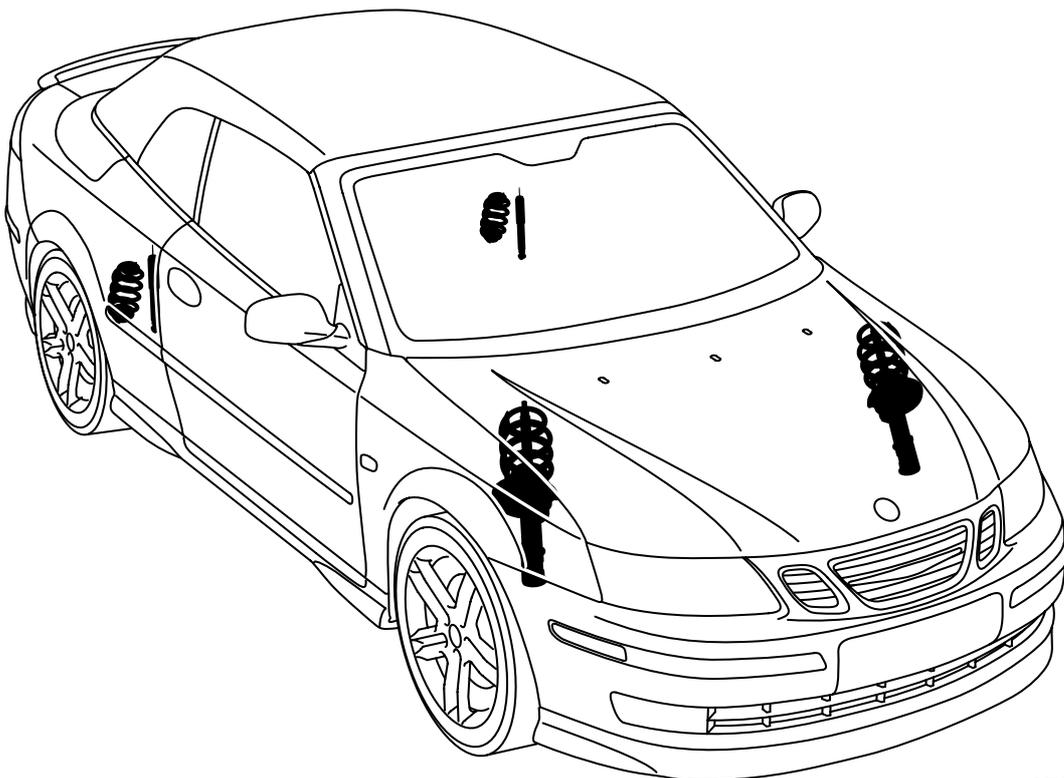


**MONTERINGSANVISNING · INSTALLATION INSTRUCTIONS
MONTAGEANLEITUNG · INSTRUCTIONS DE MONTAGE**

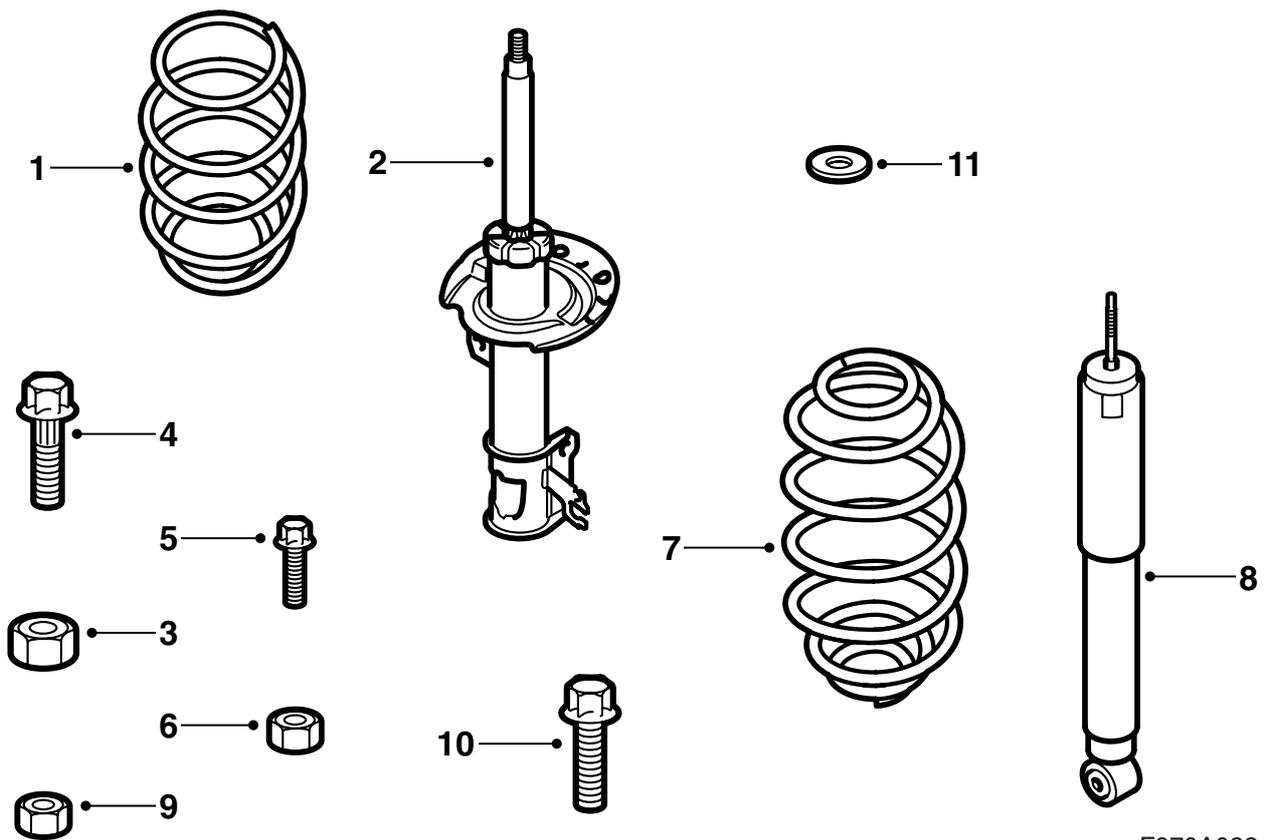
Saab 9-3 CV M04-、4D/5D M06-

スポーツシャシー

Accessories Part No.	Group	Date	Instruction Part No.	Replaces
55 25 472	9:76-06	May 05	12 803 216	12 803 216 Apr 04
55 25 480				
55 25 498				
55 25 506				
55 25 514				
55 25 522				
55 25 530				
55 25 548				
55 25 555				
55 25 563				
55 25 571				
55 25 589				
55 25 597				
55 25 605				
55 25 613				
55 25 621				
12 803 088				
12 803 089				
32 000 525				
32 000 526				



F970A021

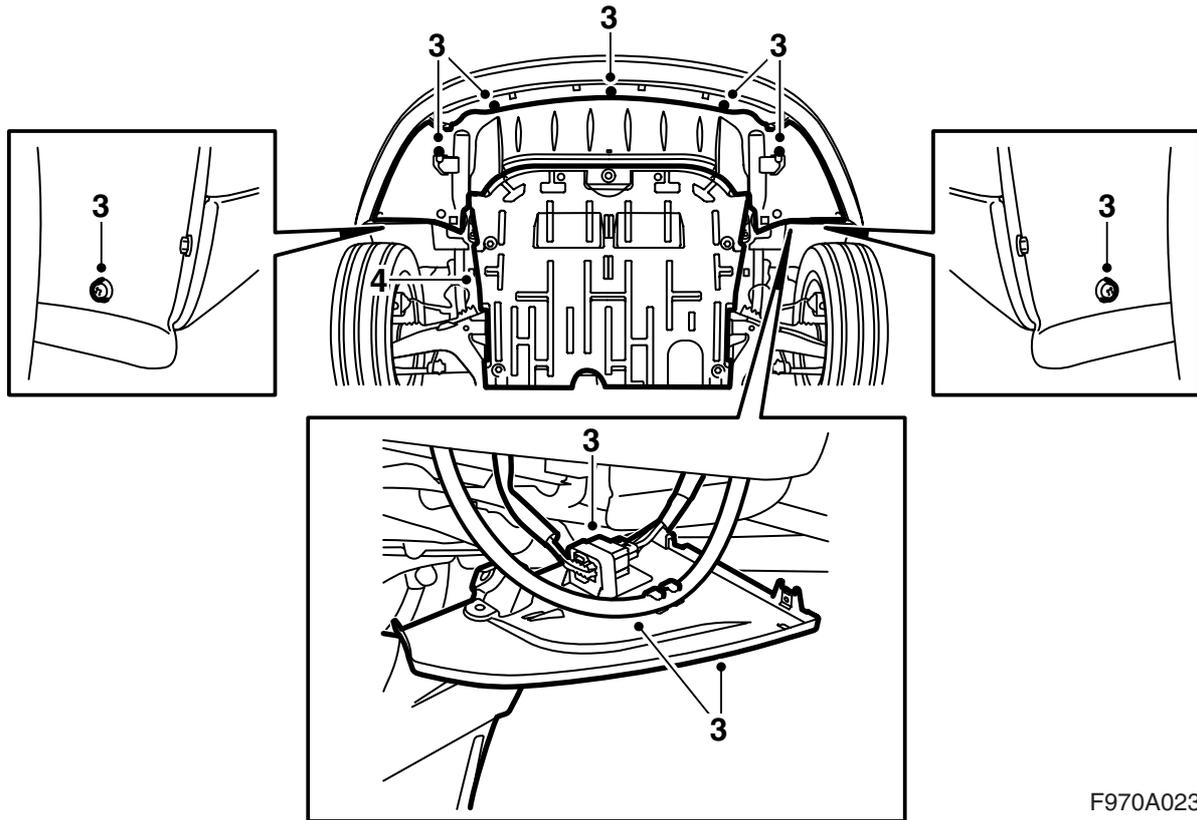


F970A022

- 1 コイルスプリング、フロント (x2)
- 2 サスペンションストラット、フロント (x2)
- 3 ロックナット、フロント (x2)
- 4 スプリング付きボルト (x4)
- 5 ネジ (x6)
- 6 ナット (x6)
- 7 コイルスプリング、リア (x2)
- 8 ショックアブソーバー、リア (x2)
- 9 ナット (x2)
- 10 ネジ (x2)
- 11 ワッシャー (x4)

目次

- 準備作業 (3 ページ)
- フロント (4 ページ)
- リア (8 ページ)
- 最終仕上げ作業 (16 ページ)
- スポーツシャシー取り付けの後で (17 ページ)

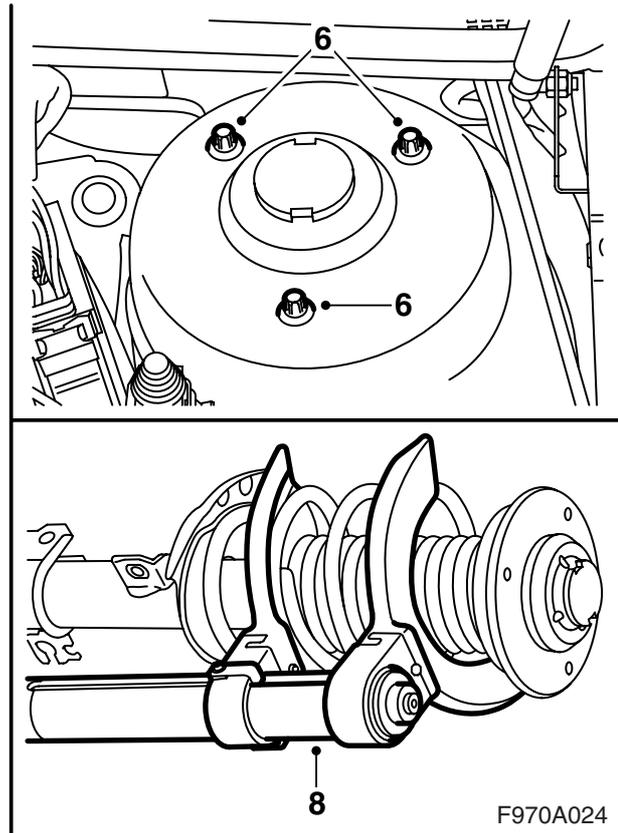
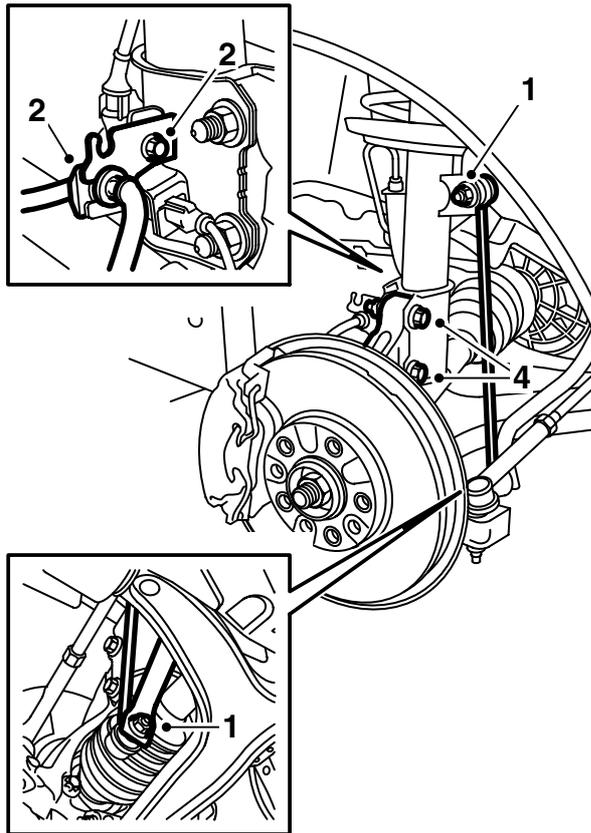


F970A023

準備作業

- 1 車両を上げる。
- 2 車輪を全て取り外す。
- 3 スポイラーシールドを取り外してバンパーのコンネクターを分離し、コンネクターをスポイラーシールド上のホルダーから取り外す。

ヘッドライトウォッシャー装備車： スポイラーシールドからホースの留めを外す。



F970A024

フロント

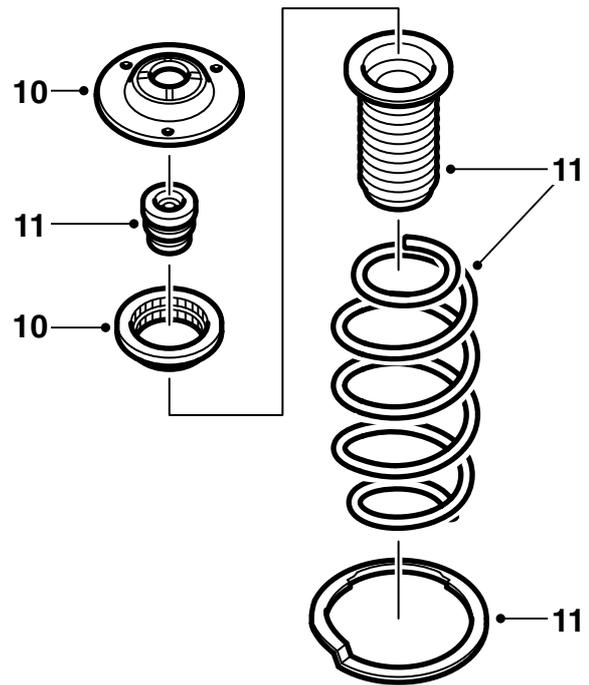
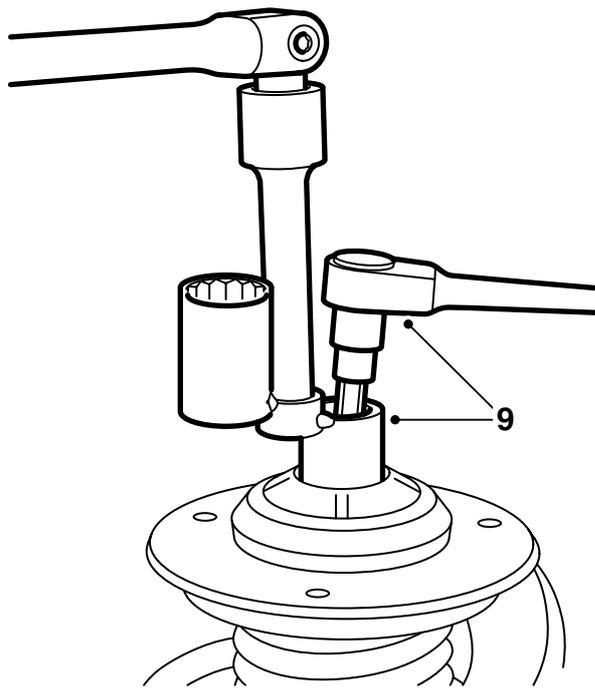
説明は場合によって片側を扱ったものとなっていることがあるが、作業は両側で行うこと。

- 1 17 mm のオープンエンドスパナで支えながら、車左側のアンチロールバーリンクを取り外す。
- 2 車輪速度センサーのコネクター用ホルダーとクリップを、ブレーキホースから取り外す。ホースをフックから外す。
- 3 ジャッキでステアリングスイベルメンバーの荷重を支える。作業中ジャッキはそのままにしておく。
- 4 ステアリングスイベルメンバーをサスペンションストラットから取り外す。ボルトが回転しないようにレンチでボルトを支えておく。
- 5 ステアリングスイベルメンバーを外側へ倒す。
- 6 サスペンションストラットのアップーサポートから各ボルトを取り外す。
- 7 サスペンションストラットを持ち上げて取り除き、バイス（万力）にセットする。

重要事項

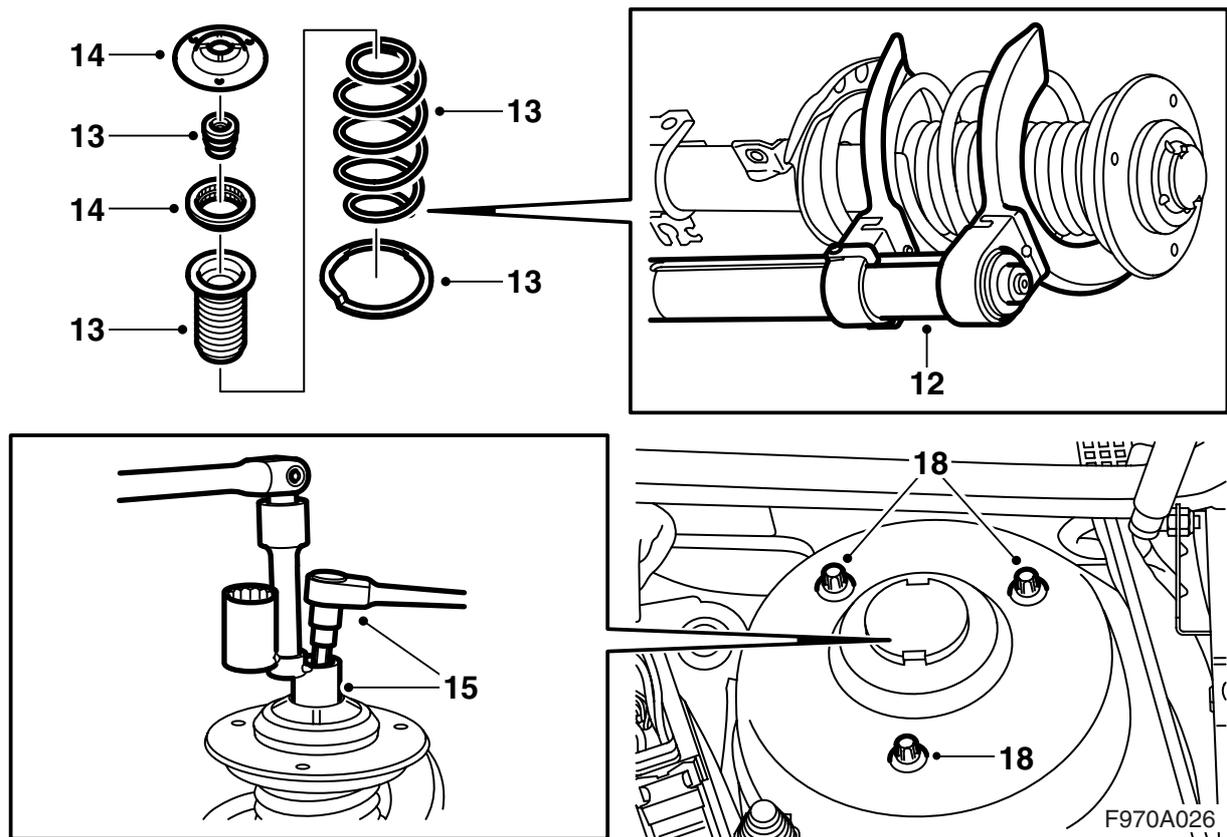
あまりきつく締め付けすぎないようにする。

- 8 コイルスプリングを 88 18 791 スプリングコンプレッサーで圧縮する。



F970A025

- 9 サスペンションストラットの天面からカバーキャップを取り外す。ピストンロッドを支えておき、89 96 613 ソケット、サスペンションストラットでナットを取り外す。
- 10 ベアリングリテーナーとサポートベアリングを取り外す。
- 11 シフトレバーカバー、コイルスプリング、バンブーストッパー、亜鉛ワッシャーを取り外す。



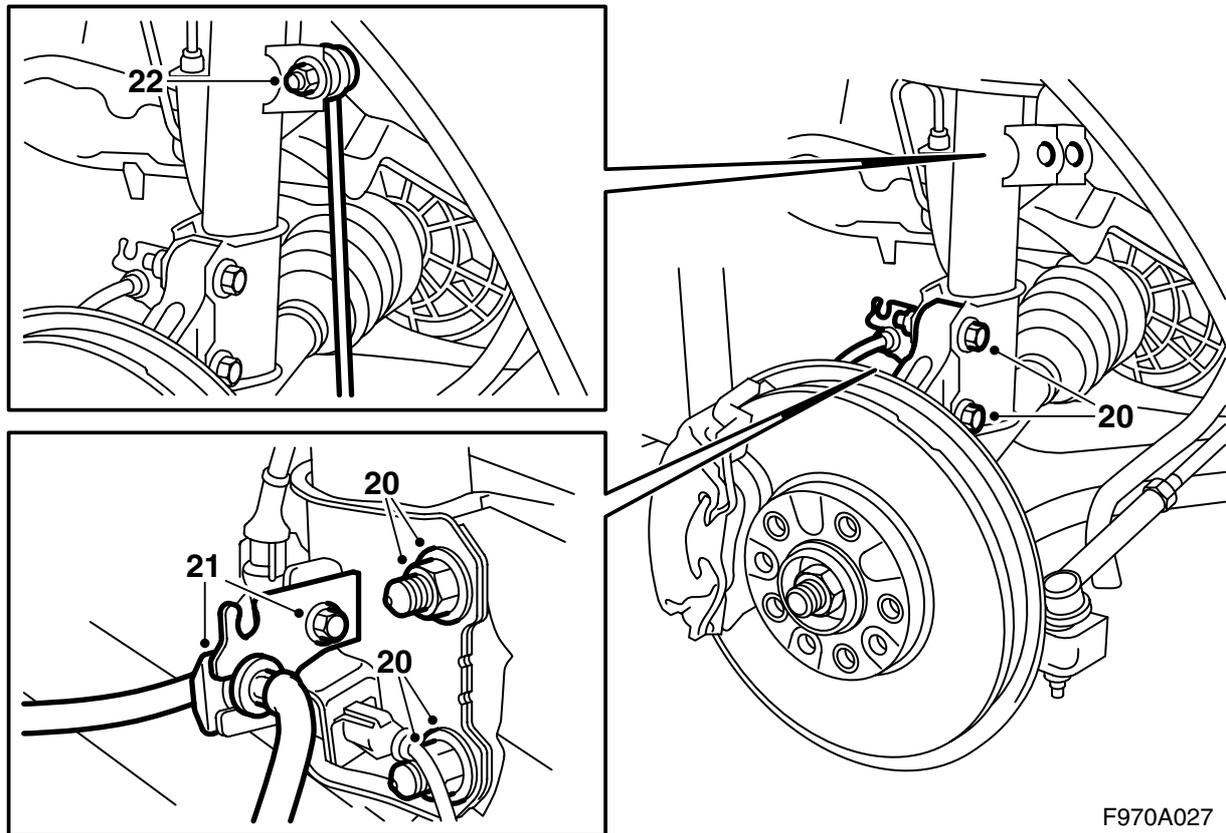
- 12 新しいコイルスプリングを 88 18 791 スプリングコンプレッサーで圧縮する。
- 13 亜鉛ワッシャー、パンプストッパー、コイルスプリング、シフトレバーカバーを装着する。
スプリングアンダーシートストップラグに、コイルスプリングの下部巻き終わり端が接触するようにする。
- 14 サポートベアリングとベアリングリテーナーを取り付ける。
- 15 新しいナットを取り付ける。
締め付けトルク：105 Nm (78 lbf ft)
- 16 保護カバーを取り付ける。
- 17 スプリングコンプレッサーを解除し、シフトレバーカバーを調整して、ショックアブソーバーに被せる。
- 18 サスペンションストラットを車の所定位置にセットし、新しいボルトをアップーサポートに取り付ける。

注記

各取り付け穴は、対称的な配置とはなっていないことに注意する。

- 19 まず手で締め、さらに指定の締め付けトルクで締め付けることにより、各ボルトを締め付ける。

締め付けトルク：19 Nm (14 lbf ft)



F970A027

- 20 ステアリングスイベルメンバーをサスペンションストラットに向けて起こし、ステアリングスイベルメンバーをサスペンションストラットに押し込んで、ステアリングスイベルメンバーをサスペンションストラットに保持する新しいボルト、ワッシャー、ナットを取り付ける。ボルトが回転しないようにレンチで支えておく。

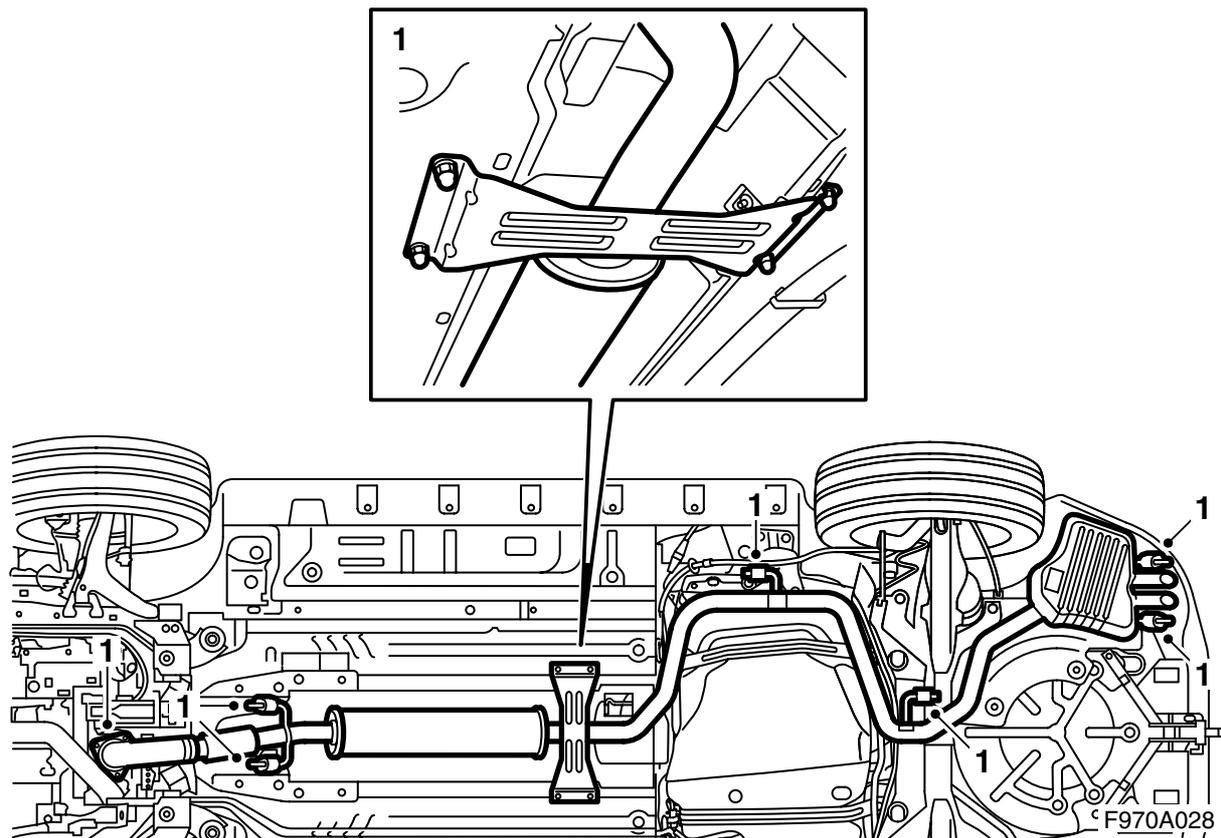
**締め付けトルク： 80 Nm +135°
(59 lbf ft +135°)**

リフトダウンし、ジャッキを取り除く。

- 21 ホイールセンサーケーブル用ブラケットを取り付け、ブレーキホースとクリップを取り付ける。
- 22 両側の各アンチロールバーリンクを取り付ける。17 mm の薄さのオープンエンドスパナで支えておく。

締め付けトルク： 64 Nm (47 lbf ft)

- 23 車の右側について作業手順 1 ～ 22 を繰り返す。



リア

説明は場合によって片側を扱ったものとなっていることがあるが、作業は両側で行うこと。

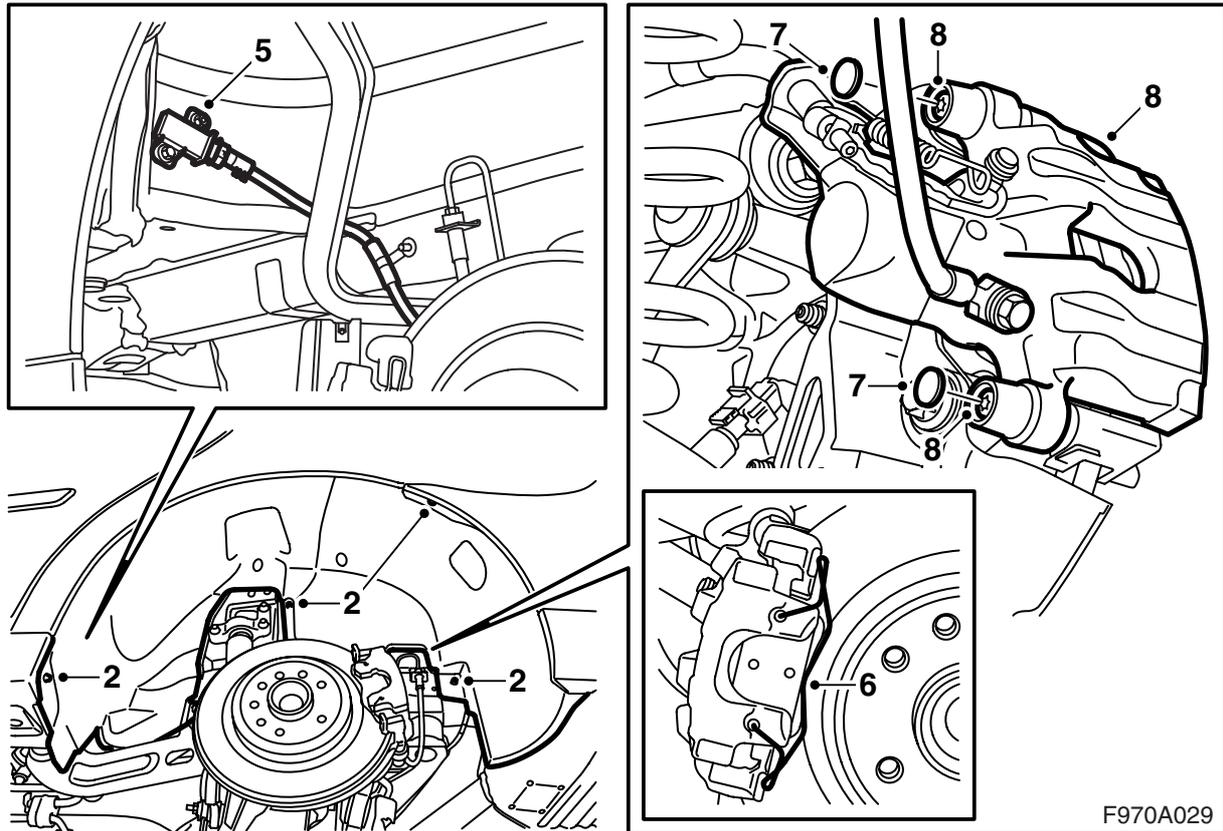
- 1 車両を上げ、排気システムを取り外す。

CV (カブリオレ) : トンネル補強材を取り外す。

重要事項

排気システムの前部にあるフレキシブル蛇腹は、中心線から 5° 以上曲げてはならない。

パイプに余分な荷重がかかると、装置に含まれるパーツが変形したままになる。すると、ノイズや漏れ、最終的には故障の原因となる。



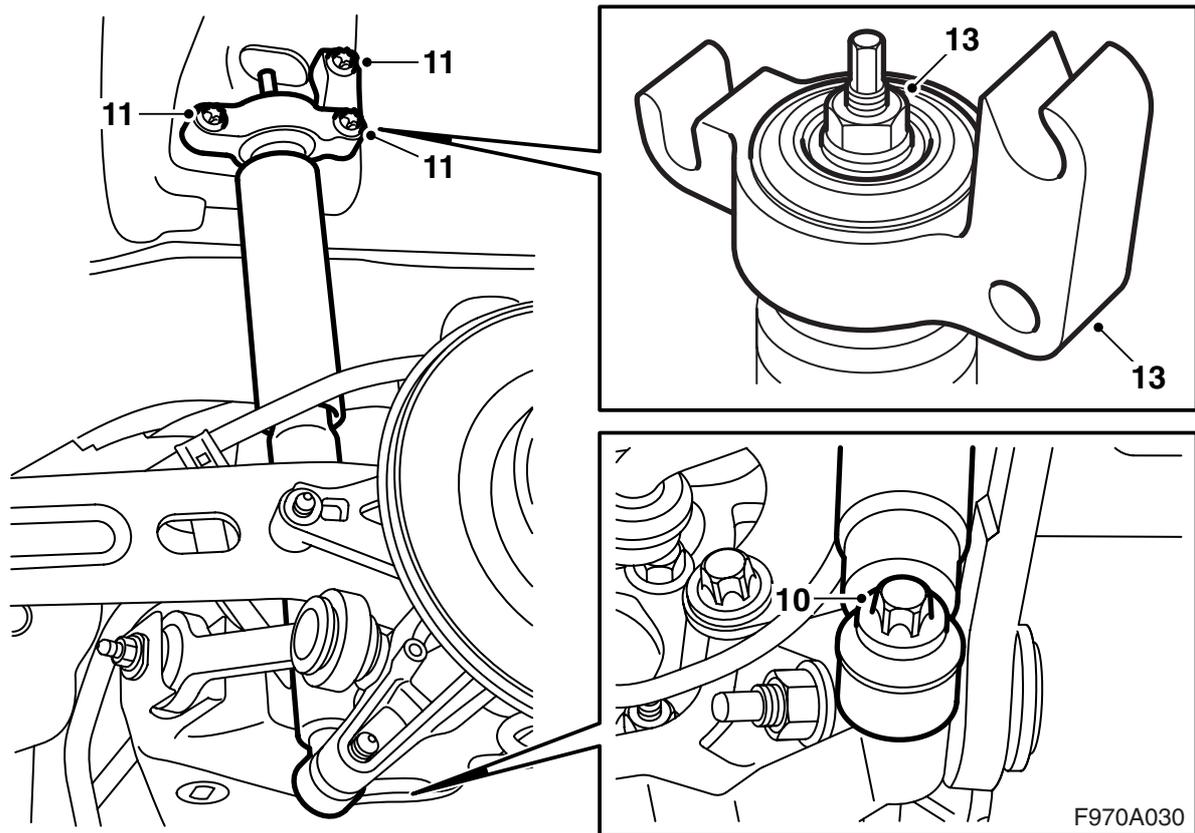
- 2 **TPM:** 各リアフェンダーライナーのそれぞれのボルトおよびナットを取り外す。
- 3 **TPM:** それぞれのフェンダーライナーを各スタッドから外す。
- 4 **TPM:** 後方から始めて、それぞれのフェンダーライナーをフェンダーエッジから外す。順次フェンダーエッジ全体から外して抜き出す。
- 5 **TPM:** シグナル検知器からコネクタを外し、ホイールハウジングからクリップを外し、両側でワイヤーハーネスを曲げ下げる。
- 6 スプリングをキャリパーアセンブリから取り外す。
- 7 カバーキャップを取り外す。
- 8 ブレーキシリンダボディを取り外し、ブレーキパイプ用ホルダーにフックで吊るしておく。

重要事項

各ブレーキパイプを損傷しないように慎重を期すこと。

アウターブレーキパッドを取り外す。

- 9 もう片方の側のブレーキシリンダボディを取り外す。



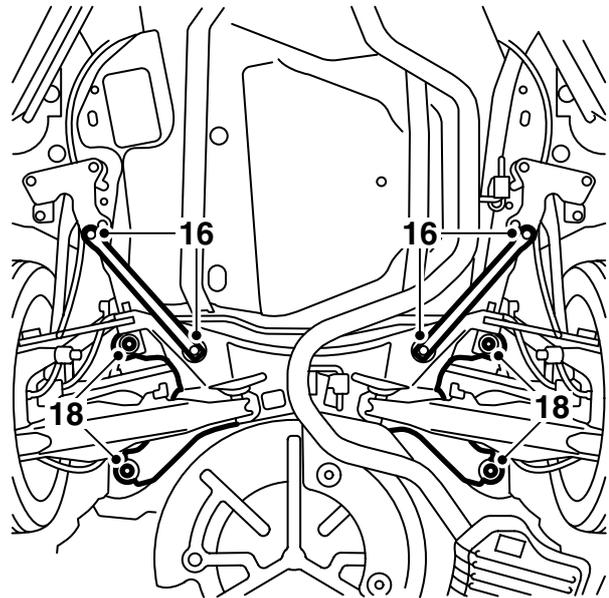
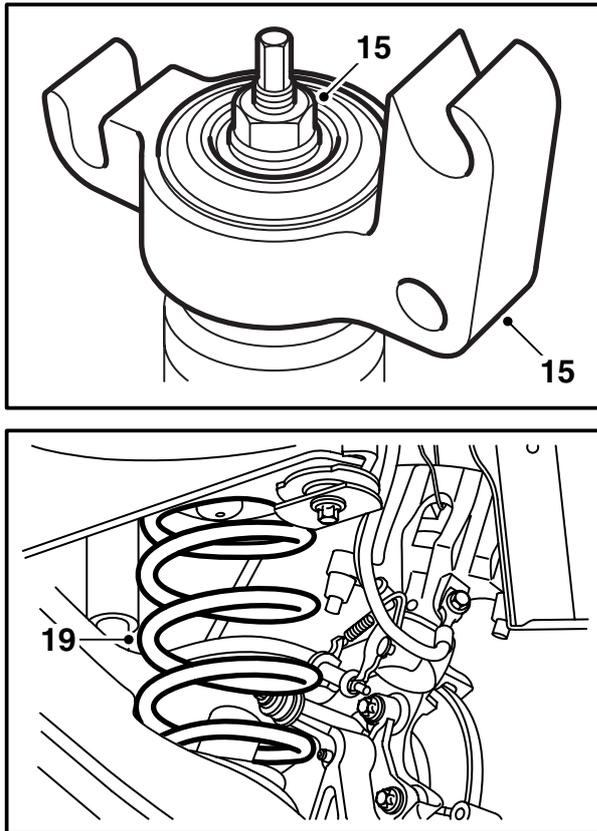
- 10 ショックアブソーバーをステアリングスイベルメンバーに保持するボルトを取り外す。
- 11 ショックアブソーバーのブラケットをボディから取り外す。

注記

前部穴と上部穴にはスリットが施されているので、これらのボルトは緩めるだけでよい。

ショックアブソーバーを持ち上げて取り除く。

- 12 もう片方の側のショックアブソーバーを取り外す。
- 13 ブラケットをショックアブソーバーから取り外す。
- 14 ワッシャーを新しいショックアブソーバーに移し替える。



F970A031

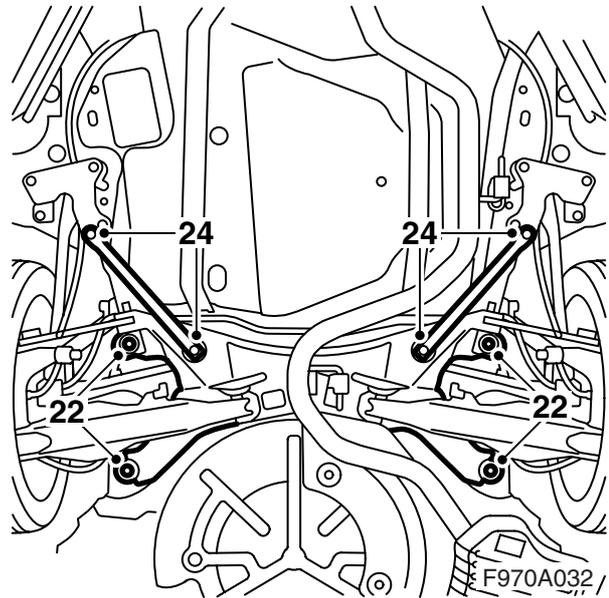
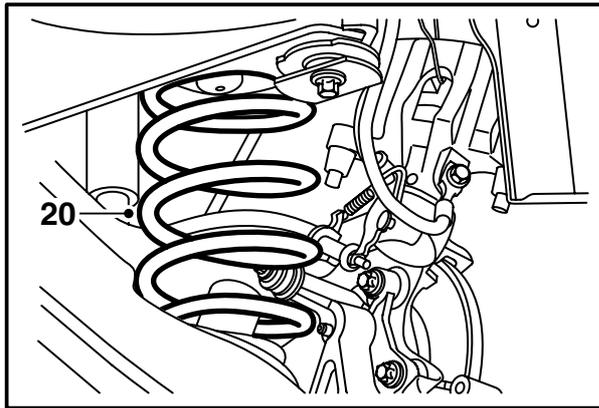
- 15 新しいナットを使って、ブラケットをそれぞれのショックアブソーバーに取り付ける。

締め付けトルク：27 Nm (20 lbf ft)

- 16 **CV (カブリオレ)**：リアのシャシー補強材を取り外す。
- 17 ピラーリフトをサブフレームの下にセットする。
- 18 サブフレームの各ボルトをボディから取り外す。
- 19 サブフレームをリフトダウンし、各スプリングを持ち上げて取り除く。

重要事項

サブフレームは、リアエッジを 200 mm 以上リフトダウンしてはならない。



20 スプリングサポートを各スプリングに取り付ける。各スプリングをそれぞれのロアアームにセットする。

21 サブフレームをリフトアップする。サブフレームを若干前方へ押す。

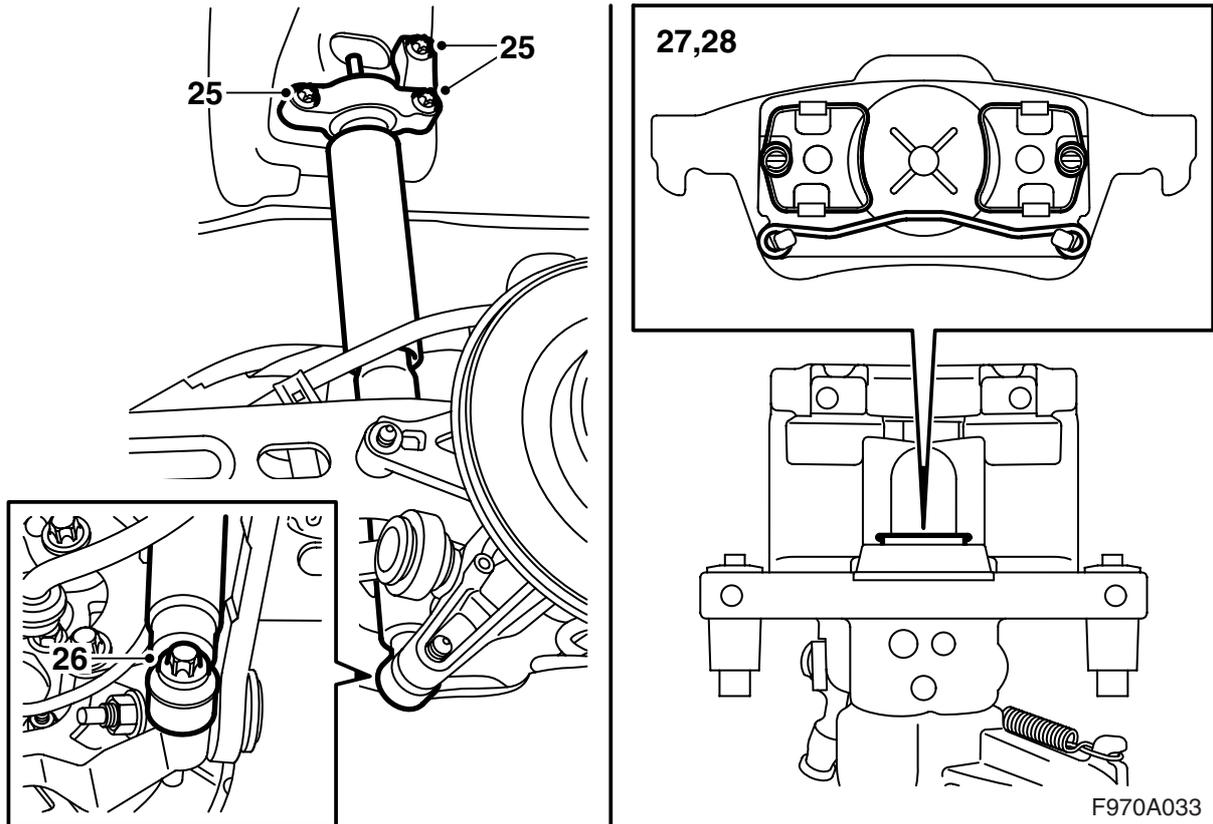
22 サブフレームをボディに取り付ける。

**締め付けトルク： 75 Nm +135°
(55 lbf ft +135°)**

23 ジャッキを取り除く。

24 **CV (カブリオレ)**：リアのシャシー補強材を取り付ける。

締め付けトルク： 110 Nm (81 lbf ft)



25 ショックアブソーバーのブラケットをボディに取り付ける。

締め付けトルク： 53 Nm (39 lbf ft)

26 新品のボルトで、各ショックアブソーバーをそれぞれのステアリングスィベルメンバーに取り付ける。

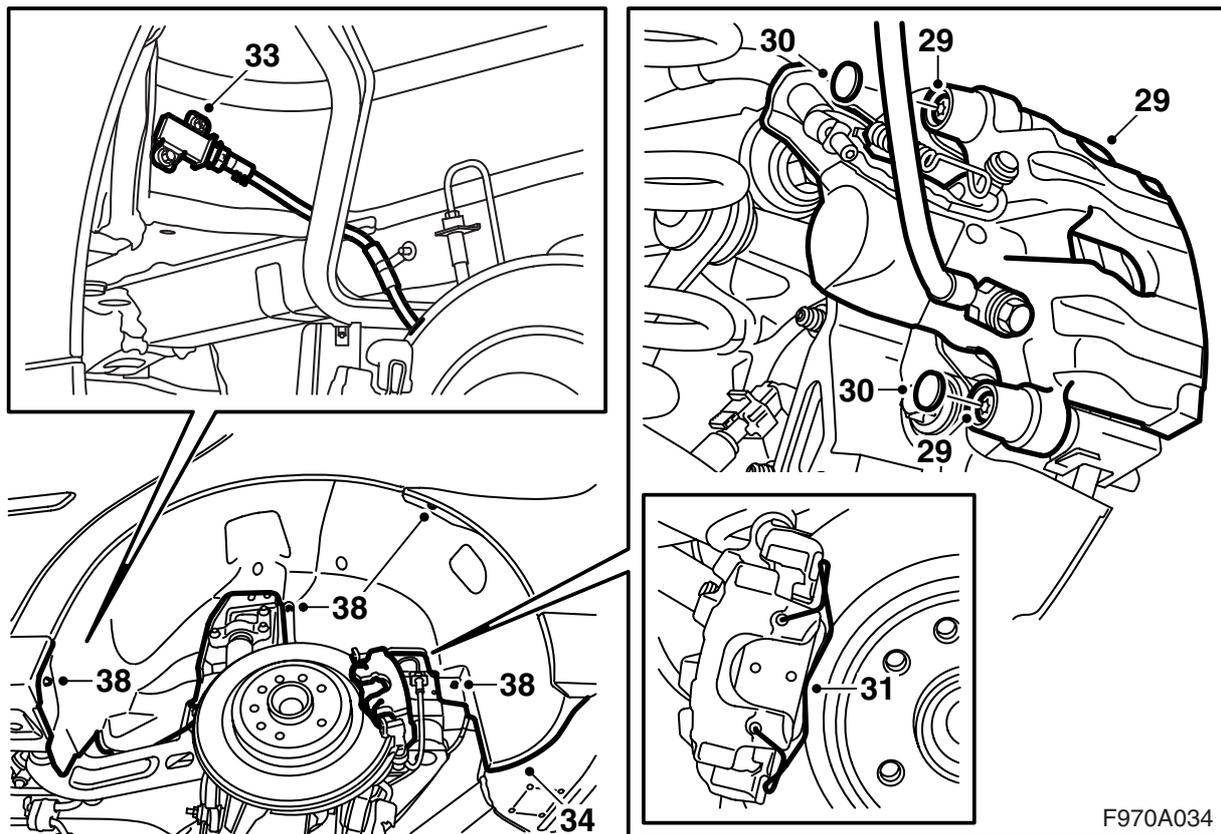
締め付けトルク： 150 Nm (111 lbf ft)

27 インナーブレーキパッドを取り外し、89 96 969 リセット工具および89 96 977 アダプターを使ってブレーキピストンをねじ込む。

28 各ブレーキパッドを取り付ける。

重要事項

インナーパッドの各スプリングがピストンの溝に納まるようにする。



29 ブレーキシリンダボディを取り付ける。

締め付けトルク：28 Nm (21 lbf ft)

30 カバーキャップを取り付ける。

31 スプリングを取り付ける。

32 もう一方の側についても作業手順 27 ~ 31 を繰り返す。

33 **TPM:** コネクターをシグナル検知器に接続し、クリップを押し込み固定する。

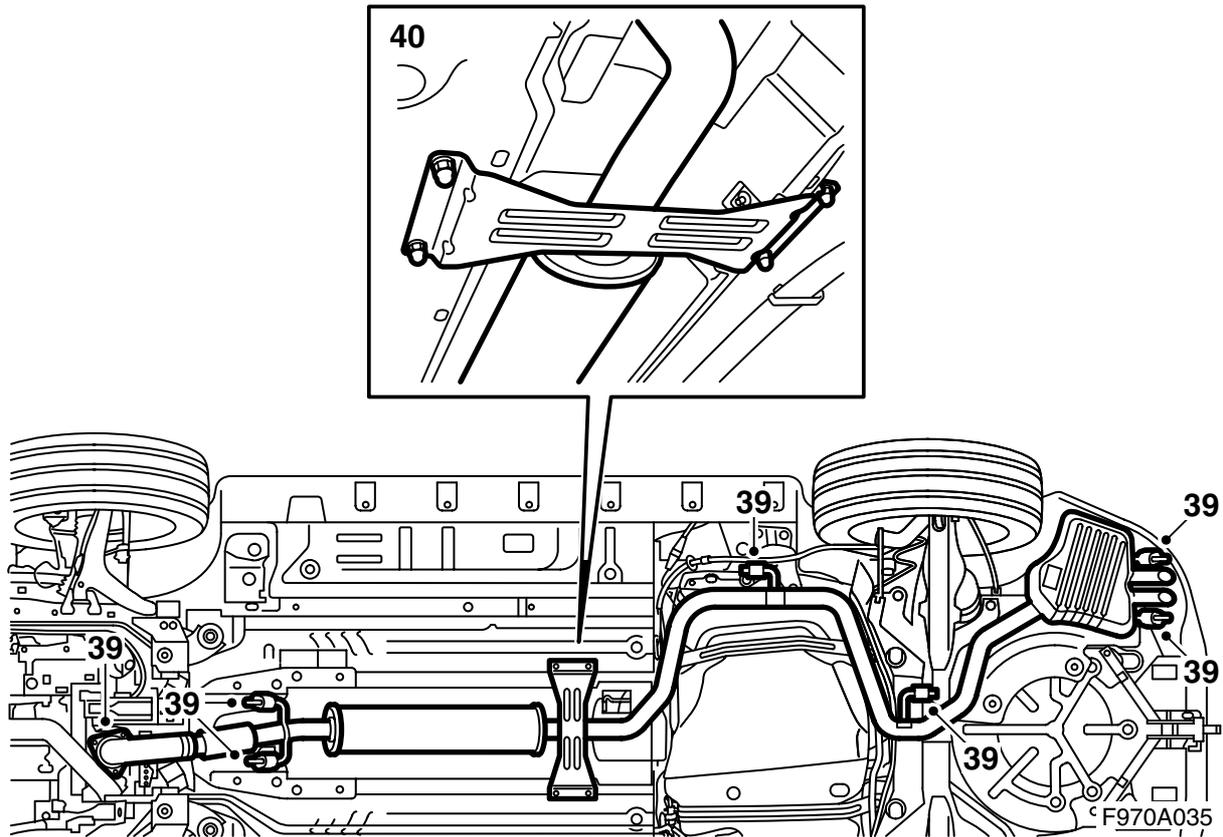
34 **TPM:** それぞれのフェンダーライナーを傾けて所定位置に挿入する。フェンダーライナーのアンダーエッジをホイールハウジングに挿入する。

35 **TPM:** それぞれのフェンダーライナーを上部スタッドに案内して挿入する。次に残りのスタッドにはめ込んでいく。

36 **TPM:** それぞれのフェンダーライナーをフェンダーエッジとバンパーアウターケーシングにはめ込む。フェンダーライナーは、バンパーアウターケーシング後方に納まるようにする。

37 **TPM:** 各フェンダーライナーのはめ合いを確認する。

38 **TPM:** 全てのボルトおよびナットを取り付ける。



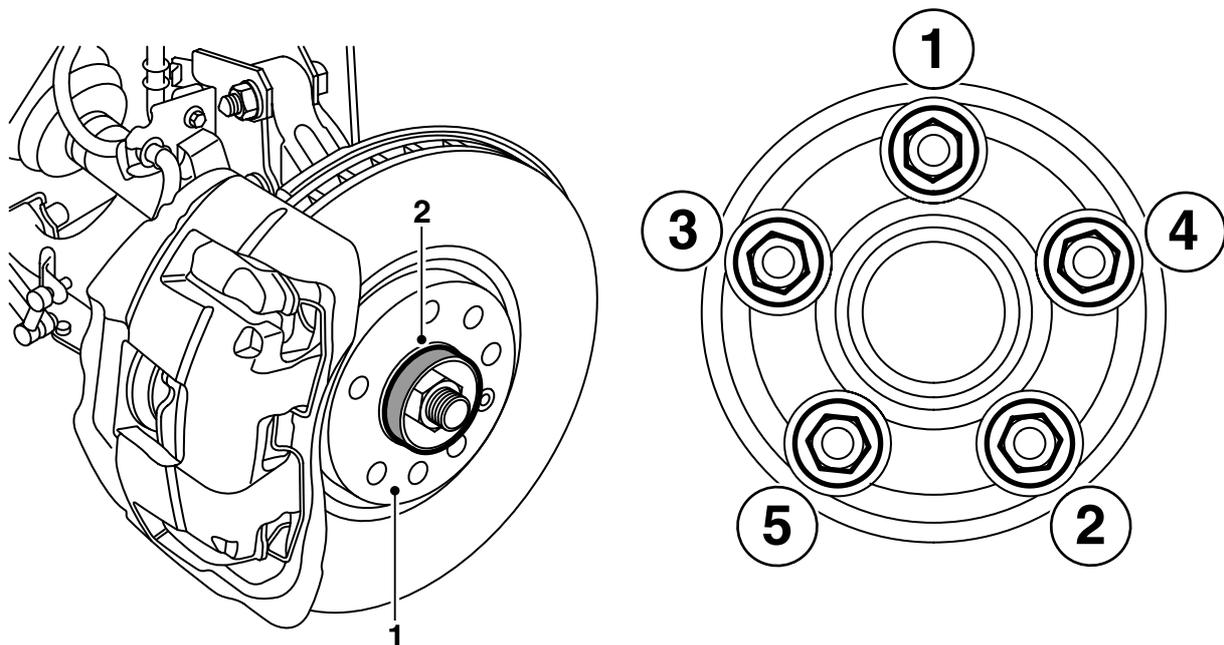
39 排気システムを取り付ける。

重要事項

排気システムの前部にあるフレキシブル蛇腹は、中心線から 5° 以上曲げてはならない。

パイプに余分な荷重がかかると、装置に含まれるパーツが変形したままになる。すると、ノイズや漏れ、最終的には故障の原因となる。

40 **CV (カプリオレ)** : トンネル補強材を取り付ける。



F970A036

最終仕上げ作業

- 1 ホイールリムとブレーキディスクの接触面の汚れや錆を落とし清掃する。
- 2 高圧潤滑ホワイトペースト (品番号 30 06 442) をハブに塗布する。

重要事項

ホイールリムとブレーキディスクの接触面にグリースが入らないようにすること。

- 3 ホイールをそれぞれ所定の位置にかける。
各ボルトを取り付け、交互に手で締め付けてホイールのセンタリングを行う。
- 4 各ネジを交互に 2 度締め付ける。

重要事項

ホイールボルト締め付け時には、ホイールを浮かせた状態とすること。

締め付けトルク：110 Nm (81 lbf ft)

- 5 スポイラーシールドをリフトアップし、バンパーのコンネクターをホルダーに取り付け、コンネクターを接続する。

ヘッドライトウォッシャー装備車：ホースをスポイラーシールドにしっかり留める。

全車：スポイラーシールドを取り付ける。

- 6 車をリフトダウンする。
- 7 各ブレーキピストンを押し出してパーキングブレーキの自動調整を行わせるためにブレーキペダルを数回踏み込む。

- 8 **ヘッドライトウォッシャー装備車：**ヘッドライトウォッシャーが正しく作動することを確認する。

重要事項

取り付け終了後には、必ず 4 輪整列の測定を実施する。

スポーツシャシー取り付けの後で

- 1 4 輪整列の測定を行い（「WIS 6、ステアリングアセンブリ - ステアリングリンケージ - 調整、交換 - 四輪ホイールアライメント」の項を参照する）、必要に応じて調整を行う。
- 2 **キセノンライト非装備車**：ヘッドライトの照射距離を確認し、必要に応じて調整する。
キセノンライト装備車：以下の方法で AHL を較正する。
 - 車は平坦な場所におくこと。
 - 車は荷物を積載していない状態としておくこと。
 - 車を揺すりバンパーに押さえがあれば外れるようにする。
 - ハンドブレーキは引いておいてはならない。
 - 各キセノンライトの電球は点灯しておくこと。
 - 診断ツールを接続し、両方の AHL 制御モジュールの較正を実施する。メイン照明の機能を確認し、故障コードがあれば消去する。
 - ヘッドライトの照射距離を確認し、必要に応じて調整する。